

## <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第45週	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	1705 0.35	18 0.38	13 0.27	▽	16 0.80	7 0.35	▽	2 0.40	5 1.00	△		1 0.10	△				16285
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1880 0.60	64 2.13	57 1.90	▽	17 1.31	8 0.62	▼	2 0.67	2 0.67		40 6.67	44 7.33	△	5 0.63	3 0.38	▽	1532
咽頭結膜熱	1415 0.45	19 0.63	27 0.90	▲	5 0.38	11 0.85	△	3 1.00	2 0.67	▼	7 1.17	7 1.17		4 0.50	7 0.88	▲	803
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7671 2.43	102 3.40	107 3.57	▲	50 3.85	52 4.00	▲	9 3.00	4 1.33	▽	27 4.50	30 5.00	▲	16 2.00	21 2.63	▲	4193
感染性胃腸炎	17200 5.44	127 4.23	140 4.67	▲	74 5.69	81 6.23	▲	6 2.00	8 2.67	△	25 4.17	24 4.00	▽	22 2.75	27 3.38	▲	6540
水痘	1208 0.38	30 1.00	34 1.13	▲	6 0.46	17 1.31	△	10 3.33		▽	12 2.00	14 2.33	▲	2 0.25	3 0.38	▲	581
手足口病	2389 0.76	13 0.43	10 0.33	▽	9 0.69	8 0.62	▽	2 0.67		▽				2 0.25	2 0.25		1301
伝染性紅斑	2030 0.64	20 0.67	11 0.37	▽	5 0.38	4 0.31	▽	8 2.67	3 1.00	▽	7 1.17	3 0.50	▽		1 0.13	△	468
突発性発しん	1459 0.46	24 0.80	15 0.50	▽	4 0.31	4 0.31		2 0.67	1 0.33	▽	10 1.67	6 1.00	▽	8 1.00	4 0.50	▽	781
ヘルパンギーナ	658 0.21	5 0.17	7 0.23	▲	1 0.08	1 0.08					4 0.67	3 0.50	▽		3 0.38	△	2842
流行性耳下腺炎	396 0.13	2 0.07		▽	1 0.08		▽				1 0.17		▽				132
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	8 0.01																1
流行性角結膜炎	605 0.87		1 0.13	△										1 0.50		△	100
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	10 0.02																20
クラミジア肺炎	1 0.00																
マイコプラズマ肺炎	166 0.35	3 0.30	5 0.50	△	2 0.50	5 1.25	▲							1 0.33		▽	134
細菌性髄膜炎	8 0.02	1 0.10	1 0.10											1 0.33	1 0.33		10
無菌性髄膜炎	19 0.04																6

## <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	3	1			
腸管出血性大腸菌感染症	患者			1		型別:O157 VT1VT2。
	無症状病原体保有者	1				型別:O91 VT1。
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	患者				1	90日以内の海外渡航歴:無し。
百日咳	患者	5				百日咳ワクチン接種歴:4回 5人。小児 5人。
風しん	患者	5			1	風しん含有ワクチン接種歴:無し 2人、不明 4人。
ウイルス性肝炎	患者			1		※第29週追加報告分。C型肝炎。

## <通信欄>

※インフルエンザの迅速キットによる型別は、A型12件、B型1件です。集団発生の報告は、ありません。  
 ※トピックスで、風しんについて掲載しています。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ		1	1	1	1				1			6			
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	1	1													13
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	5	12	22	13	5										57
咽頭結膜熱		5	9	3	5	4	1								27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	4	4	8	10	22	14	14	10	7	10	1	2	107
感染性胃腸炎	3	8	19	20	17	15	14	12	5	6	3	15	3		140
水痘			3	4	2	4	3	1	6	6	1	4			34
手足口病			2	3	1	1	1		1			1			10
伝染性紅斑						2	2	5		1		1			11
突発性発しん	1	7	5	1	1										15
ヘルパンギーナ	1		2	1	1	1	1								7
流行性耳下腺炎															

< 平成30年10月 月報 >

2018年11月21日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～10月	
	9月	10月										
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	17	11	11	6		1	2	2	4	2	177
	定点当り	1.70	1.10	2.75	1.50		1.00	1.00	1.00	1.33	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	5	12		1	1	2	3	6	1	3	78
	定点当り	0.50	1.20		0.25	1.00	2.00	1.50	3.00	0.33	1.00	
尖圭コンジローマ	報告数	2	1	2			1					30
	定点当り	0.20	0.10	0.50			1.00					
淋菌感染症	報告数	6	4	3	2					3	2	36
	定点当り	0.60	0.40	0.75	0.50					1.00	0.67	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	5	6					1		5	5	70
	定点当り	0.50	0.60					0.50		1.67	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	21	31	7	16	1	1		1	13	13	201
	定点当り	2.10	3.10	1.75	4.00	1.00	1.00		0.50	4.33	4.33	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数		1		1							1
	定点当り		0.10		0.25							

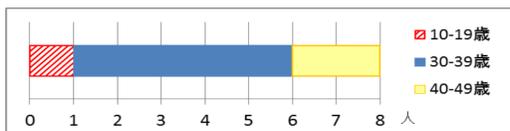
< トピックス >

風しん 情報

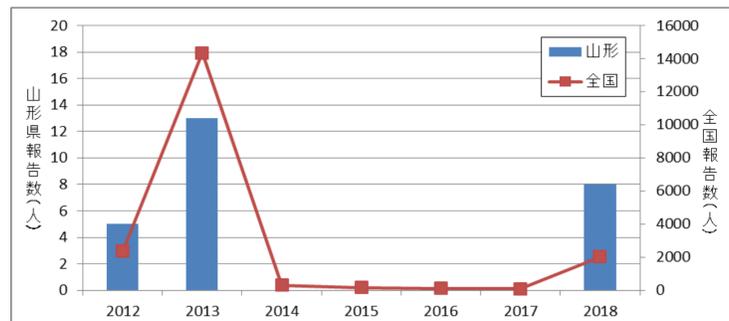
第46週に、風しんの報告が6人(村山5人、庄内1人)あり、2018年の風しんの報告数は、合計で8人となりました。

< 2018年に山形県で報告された風しん患者の内訳 >

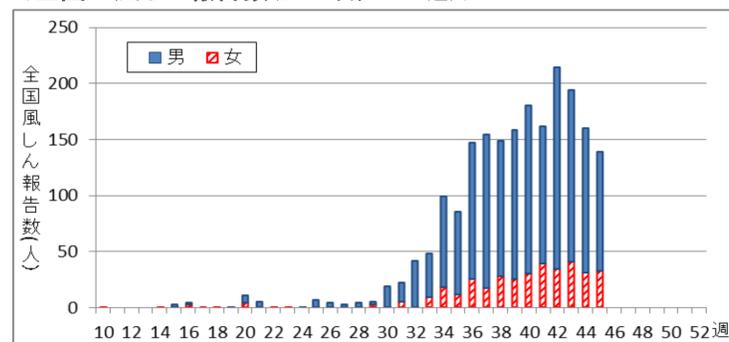
- ①性別: 男性 8名、女性 0名
- ②年齢



< 年別累計報告数 (2018年は山形県は第46週まで、全国は第45週までの暫定値) >



< 全国の風しん報告数(2018年第1～45週) >



< 風しんとは >

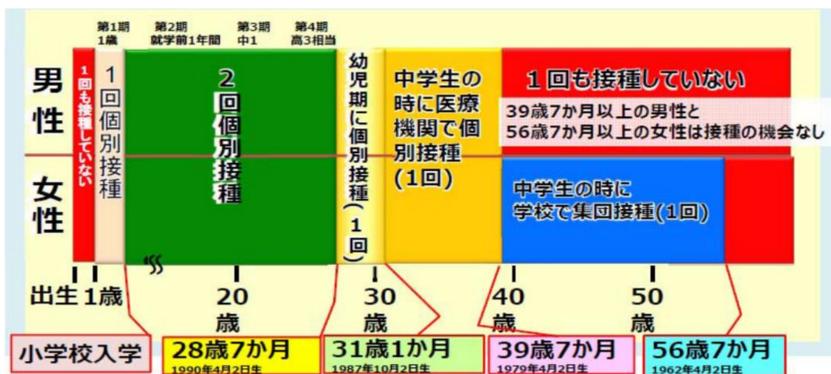
風しんは、風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症で、風しんへの免疫がない集団において、1人の風しん患者から5～7人にうつす強い感染力があります。感染すると、2～3週間後に発疹、発熱、リンパ節の腫れ(耳の後ろ、後頭部、首)などの症状が現れますが、15～30%の方は症状が何も現れません。感染経路は、くしゃみ、咳のしぶきなどによる飛沫感染です。発疹等の症状が現れる前後約1週間感染力が持続し、症状の出ない感染者も感染力があります。

基本的には予後良好ですが、風しんに対する免疫が不十分な妊娠20週ごろまでの女性が感染すると眼や心臓、耳等に障害をもつ(先天性風しん症候群)子どもが出生することがあります。妊娠中の女性は予防接種が受けられないため、抗体を持たない又は抗体価の低い妊婦は、できるだけ風しんの流行地へ行かないようにし、やむを得ず行く場合はなるべく人ごみを避けるようにしましょう。

風しんの予防法としてはワクチン接種を受けることが大切です。特に、妊娠を希望する女性や、風しん抗体を持っていない妊婦家族のうち、予防接種を受けておらず、風しんにかかったことのない方は予防接種を受けましょう。

※風しん含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係

(2018年11月11日現在)



(国立感染症研究所 風疹急増に関する緊急情報:2018年11月14日現在 より)